

# 広島市植物公園 見どころ案内

## チャノキ (ツバキ科)

インド、ベトナム、中国南部の原産と言われて  
います。日本では鎌倉時  
代以降茶道の広まりとと  
もに各地に広がってい  
きました。花が咲いてい  
ます。

## 展示会のご案内

- ◇ 展示資料館 1F(9/22~12/25)
- 特別企画展「バオバブ展」
- ◇ 展示温室
- 寒蘭展(11/10~11/15)
- ◇ 屋外展示場
- キク展(10/27~11/11)

## ツワブキ (キク科)

艶のある大きな葉をもっており、秋から冬にかけて黄色い花をまとめて咲かせます。そのため、「石路の花(つわのはな)」は初冬から大雪の頃の季語にもなっています。山口県の津和野は石路の野(ツワの多く生えるところ)が由来となっています。

## 寒蘭展

東洋蘭の中でも特に清楚で人気のある寒蘭を展示します。

## パンジー (スミレ科)

1800年代に北欧でサンシクスミレと野生のビオラを掛け合わせて作出されました。現在では色々な花色を楽しむことができます。

**熱帯  
スイレン  
温室  
休館中**

## トックリキワタ

(アオイ科)

南アメリカ原産の落葉高木。花は白色で、中心が黄色です。数日しか咲き続きませんが、まだつぼみがあります。他にはバナナやコーヒーの実もついています。コンニャクは大きな葉を展開しています。

## モミジバフウ

(マンサク科)

江戸時代に日本に渡来し、紅葉がきれいなので並木などに利用されています。日当たりの良い場所から綺麗に色づいて来ている。芝生広場奥のニシキギなども色づき始めています。カエデ園の紅葉はもう少し後になります。

## キンゴウカン (マメ科)

熱帯から亜熱帯にかけて広く栽培されており、8mくらいにまでなり、2cm程度の黄色い球状花序をつけます。

## コキア (ヒユ科)

ホウキギとも呼ばれ、繊細な茎葉が密に茂り、刈り取って乾燥させたものをほうきの代わりに利用していました。真っ赤に紅葉しています。カスケード脇の滝の上のイロハカエデも紅葉してきています。

## 特別企画展 バオバブ展

大温室にオーストラリアから導入した日本最大のバオバブが植栽されているところから、世界各地のバオバブをパネルや標本などで紹介します。また、植栽した時の状態を映像でも紹介しています。

